

令和 6 年度第1回温海地域振興懇談会で出された意見（検討事項）への対応

No.	委員意見	意見に対する対応	関係部署	担当課
1	温海地域家族まるごと移住体験事業について ・最終的な目標は移住や二地域居住ではないか。参加家族から来てもらうことが目標になっているのではないか。 ・参加家族へのフォローはどうしているのか。移住関係のサポートとして資料の配布など行っているのか。 参加された家族で移住を考えるという意思表示はあったか。 ・小学生留学について、具体的にどことやるのか決まっているか。 ・素晴らしい取組なので、市のホームページだけでなく、SNS等を活用し県内外の方々へどんどんPRしてほしい。	最終的な目標は、子育て家族の移住や二地域居住ですが、まずはこの温海地域を知ってもらうことが必要と考えています。そのため、参加家族には、イベント情報、移住支援や子育て関連の資料を提供しています。参加されたご家族のアンケートから移住を検討しているご家族は少ないですが、今後も温海地域のイベント情報（海水浴解禁など）を定期的に発信してまいります。 小学生留学について、まずは保育園留学の基盤を固めることに注力する見込みですが、希望があった場合は、学校教育課と連携し対応を進めてまいります。学校教育課では、これまで児童生徒の体験入学の受け入れを実施しており、基本的には、校長の承諾を得た場合に受け入れ可能としています。 取組の周知については、ふるさと温海会広報等への掲載やワーケーションで来られた企業に対し取組を紹介しています。今後は、ふるさと納税の返礼品にチラシを同封したり、SNSや新聞社等へのプレスリリースするなど情報発信を強化してまいります。	・子育て推進課 ・学校教育課	総務企画課
2	温海地域自然環境を生かした教育環境整備による定住促進事業について ・事業の情報発信について、市ホームページ以外で何かやっているか。市ホームページが2024年3月から更新されていない。一般の方やこれから子育てする世代へ向けて伝わるような情報発信を検討していただきたい。	11月に住民を対象とした研修会を2回実施したほか、2月17日に「生きる力を育む教育SEL教育オンラインセミナー」で実践者の取組を全国に情報発信しています。市のホームページについても年度内に更新し、今後も機会を捉え情報発信してまいります。	・学校教育課	総務企画課

No.	委員意見	意見に対する対応	関係部署	担当課
3	歴史・文化を生かした取組について ・人口減少によって、地域の祭りの継承が難しくなっている。市として、地域の歴史・文化を映像として残し、交流学习に役立てていく等の考えはあるか。	「鶴岡市民俗芸能交流発表会」の映像を出演団体へ提供しているほか、各地域の祭礼等で奉納される民俗芸能を可能な限り映像として記録し、そのデータを保存会等に提供しています。映像等の記録の提供を希望される場合はご相談ください。 また、地域に伝わる民俗芸能を保存・継承する取組として、保存継承団体間の情報交換会の開催や、民俗芸能に関する各種民間助成等の情報を希望する団体に提供しています。	・ 社会教育課	総務企画課
4	若者の移住対策について ・Uターンなどで転入する若い人たちに現時点でどのような支援があるのか。今後重点事業として拡大していく考えはないか。きめ細やかな対応を行うことによって移住者が増えてくると思うので、様々なケースに合わせた対応策を検討いただきたい。	令和5年度に策定した総合計画後期基本計画において、特に重視すべき視点を5つの加速化アクションとし、その中の一つに「若者・子育て世代に選ばれるまちづくり」に取り組むとしています。若者の地元回帰や定着を促進するため、大学生やUIターン希望者を対象としたインターンシップ、令和3年度からは「つるおかエール奨学金返済支援事業」等に取り組んでいます。 移住に関する様々なケースに対応するため、移住コーディネーターを配置し、転入前から移住に関する相談を受け、お試し移住や各種支援の情報提供など様々なケースに対応しています。今後も、定住に向け移住後の交流会や困りごと相談も含め継続して支援してまいります。 温海地域では、新たに温海地域の若者と首都圏の若者が「温海の関係人口を増やす会」を立ち上げ、地域に関わる若者を増やす活動をしています。この取組を通じて若者のネットワーク化と若者の地元回帰や地元定着を目指します。	・ 地域振興課	総務企画課

No.	委員意見	意見に対する対応	関係部署	担当課
5	移住対策について ・ある程度年を取ってから、故郷に帰ってくる方の支援なども考えていただきたい。	庁内の移住・定住に関する支援の情報をまとめ移住相談窓口で情報提供しているほか、移住後も交流会などを実施したり、困りごとなどの相談を受けたりしています。今後も様々なニーズを把握し、きめ細やかな対応に努めてまいります。	・地域振興課	総務企画課
6	高齢者の交流の場づくりについて ・介護施設やデイサービスに通っている方なども地域の老人と一緒に活動できる方向性を探るべきではないか。高齢でも働いている人たちは、老人クラブに入り活動するのは難しいと思う。その方々のつながりなど考える必要があるのではないか。	老人クラブ等の高齢者組織のない集落については、地域包括支援センターあつみと連携し、「お茶飲み訪問」、「百歳体操」、「元気アップ事業」、買い物支援サービス「楽らくバス」等の事業を行いながら、高齢者の交流の場づくり、ひきこもり予防対策を実施しています。現在、民生児童委員の協力を得ながら実施している団体もありますが、今後も引き続き、温海地区民生児童委員協議会定例会の場で情報提供を行ってまいります。 高齢者の交流促進を図るため、令和7年度から地域支え合い訪問活動事業を関係部署と連携し実施する予定です。	・地域包括ケア推進課 ・長寿介護課	市民福祉課
7	老人クラブの活動の見直しについて ・温海地域は、人口が6,100人、そのうち65歳以上が3,085人、高齢化率が50パーセント超えている。老人クラブに加盟している会員数は380人。山五十川集落の会員数は100名を超えているが、湯温海や温海など大きい集落でも会員数は30人くらいである。湯温海、温海は、女性会員がほとんどで、男性会員が数名と少ない。会長のなり手がおらず、交代できないところもある ・温海温泉クラブの中で百歳体操を毎週火曜日行っており、リハビリも兼ねて参加してもらい、ワナゲ等をやったりしている。人とのつながりが持てるサロン活動もいいかなと思っている。	・介護予防事業については、百歳体操などの事業周知を行い、地域包括支援センターあつみと連携しながら事業実施につなげてまいります。 ・老人クラブ連合会温海支部の事業の見直しとしては、第50回老人福祉大会を明るいまちづくり温海大会と合同開催した結果、会員の負担軽減と課題であった老人クラブ会員以外の参加を得ることが出来ました。今後も、参加しやすい事業とするため、老人クラブ連合会温海支部と相談しながら事業を進めてまいります。	・地域包括ケア推進課	市民福祉課

No.	委員意見	意見に対する対応	関係部署	担当課
8	塵芥収集事業について ・ゴミの分別が難しくなり、一人暮らしの男性から「分別の仕方がわからなく、自分が出したゴミが収集されないと、出すのが億劫になりゴミを溜めてしまい困っている。」と聞いた。ゴミの分別を理解してもらうために、運動会の種目に取り入れたり、老人クラブの活動でゴミの分別の勉強会をすることも考えられるのではないか。	ゴミ分別の理解促進としては、これまでも介護予防活動実施団体等での分別講習会の実施や施設見学会への参加呼びかけを行い、高齢者の方にも理解していただけるよう努めています。今後も機会を捉えてごみ分別方法を周知してまいります。また、講習会については、集落内の隣組単位等で実施の希望があれば対応しますので、ぜひご相談ください。 高齢者のゴミ出しについて、「高齢者等ごみ出し支援事業補助金」を設け、高齢者のごみ出しを支援する団体に補助金を交付しており、引き続き支援してまいります。	・廃棄物対策課	市民福祉課
9	鶴岡市老人クラブ連合会からの陳情への回答について ・鶴岡市老人クラブ連合会で市長へ4項目ほど陳情した内容について、正式な回答がない。	老人クラブ連合会からの陳情に対して、一括して文書での回答はしていませんが、各要望項目について個別に見直し等の検討・調整等を進めています。	・地域包括ケア推進課	市民福祉課
10	道の駅あつみ移転整備事業について ・地域産業を盛り立てていく計画の中に、地域の中で、子供が家族と一緒に遊べる場所、皆がくつろげる場所の整備を入れていただきたい。地域イベントに家族で行ってみようなどと地域で楽しめる機会を増やしていただきたい。小さい頃から、地域産業に目を向け、子供なりに感じ取れるよう環境があると、将来の地域産業の活性化に結び付いていくと考える。	令和9年4月の開業を予定している道の駅あつみ移転整備事業については、事業者グループ「夕陽コミュニティ」から基本設計が示され、市HP及び事業者HPで公表しています。 基本設計においては、子どもの遊び場は、市の遊び場方針を踏まえ、大型遊具と周辺のイメージを含め、全体的に具体化した内容となっています。さらに、イベント広場やバレルサウナ等も整備する計画となっており、「親子3代家族連れで楽しめる道の駅」が特長の一つに掲げられています。 また、温海地域の地場産品も並ぶ産直・物販スペースや海・山の幸を用いた6次化加工施設も設けられ、地域の農林水産資源を感じられる施設計画となっています。	・都市計画課 ・子育て推進課	産業建設課

No.	委員意見	意見に対する対応	関係部署	担当課
11	既存の道の駅あつみの跡地利用について ・新道の駅に向けた取組は結構進んでいるようだが、現在の道の駅しゃりんの建物、土地の利活用についても、そろそろ具体的な計画を考えてほしい。	庁内に跡地利用検討委員会を設置し、令和7年度以降に民間並びに地域住民の意見等を踏まえ、具体的方針を定めてまいります。	・都市計画課	産業建設課
12	森林環境教育推進事業について ・林業の振興として森林組合で9月28日に市と共催でサラリーマン林太郎を開催する。今年度新しく、グーグルアースを使い自分の土地の場所を明らかにする取組を行う予定である。総理大臣賞を受賞した大江町の取組をまねてやるものだが、都会から帰ってきて自分の土地がわからない人たちから自分の土地に興味をもってもらいたいと考えている。来年度は、このような取組を定期的で開催していきたいので、市と共催で森林環境譲与税を使いながらやっていけないか。	市では、森林環境譲与税は森林の整備や路網の整備等へ、みどり環境税は森林環境教育へとすみ分けし活用しており、本事業についてはみどり環境税を活用し実施する予定です。森林環境教育の充実には、林業の担い手確保等の効果が期待されるため非常に重要と考えており、共催による積極的な支援をしてまいります。	・農山漁村振興課	産業建設課

No.	委員意見	意見に対する対応	関係部署	担当課
13	体育館の整備について ・温海地域に体育館を整備してほしいと市長へ陳情していた。鶴岡第三中学校跡地と大山中学校跡地に体育館整備の要望があり、第1次総合計画には体育館整備の記載があったが、第2次総合計画に記載がなくなった。その後、体育館整備について市の方針など説明がない。学校施設の跡地利用を地域でも考えていくような方策を示していただきたい。また、陳情した内容もその年度内に回答いただきたい。	体育館整備について、第1期鶴岡市スポーツ推進計画では、鶴岡第三中、鶴岡第五中学校区に拠点体育施設整備の検討を盛り込んでいましたが、鶴岡五中学区は令和3年のJA鶴岡だだちゃアリーナ整備、鶴岡三中学区は旧朝陽二小跡地に整備を計画している第二学区コミセンとの複合施設として、軽スポーツホールを配置することを検討しています。その点を踏まえ、令和6年3月に策定した第2期市スポーツ推進計画からは、中学校区拠点体育施設整備の取組を計画にあげていません。 温海地域でスポーツができる環境として、スポーツ少年団や中学校運動部保護者会クラブ、社会人の活動は、あつみ小、鼠ヶ関小、温海中の学校体育施設開放や、閉校となった施設を活用しており、あつみスポーツクラブネクサスは、温海温泉林業センターや鼠ヶ関マリーナの多目的ホールを活動拠点としています。 令和元年の要望書提出の際に添付された平成30年度の利用状況から、室内競技の利用については、既存施設の利用である程度充足しているものと推察され、新たなスポーツ施設を整備することに対しては、慎重な対応が必要と考えています。温海地域住民のスポーツ活動の場を確保することは非常に重要と認識していますが、学校体育施設も含め現在利用している既存施設の有効活用を図って参りたいと考えております。	・管理課	スポーツ課